

同窓会会長挨拶

同窓会を代表し第二期卒業の橘井がご挨拶させていただきます。

本日は多くの同窓生で母校を偲ぶ予定でございましたが、昨今の状況から少人数に限らせていただいたため、私たちの思い出がつまった母校の最後を静かに迎える事となってしまいました。

悔しながらも母校の見送りを断念し、残念な思いを受け止めざるを得ない同窓生が多くいるとの報告もあり出席させていただいている私は、大変申し訳ない気持ちです。

本日、とうとうこの日が来てしまいました。

三年前の平成三十年に生徒募集停止が発表された時に、この日が来るのは分かっていましたが、いざこの日を迎えると惜別の情を一段と深く感じております。

富士校に在籍された教職員・同窓生の方々、その時々で各人各様の思いがあることと思います。その時々で、楽しく過ごしたり苦勞された苦い思いも、過ぎ去ってみれば全てが良き思い出として残っているのではないのでしょうか。

過ごした年代で、それぞれの思い出は異なりますが、寒さ暑さの中、友と楽しんだり謹慎を気にしながら悪さをしたことが映像のようによみ蘇り、昨日の出来事のように思い起しております。私たちの在学中の教職員の方々は兄貴、姉貴、父母のように優しく、時には厳しく親身に接していただき同窓生は先輩・後輩というより兄弟姉妹家族のような繋がりを持たせてくれた素晴らしい学校でした。開校当初からほぼ変わらぬ校舎・寮は私たち同窓生の故郷であり、閉校により帰省先が無くなってしまうような気持ちです。

学校は閉校となってしまいますが、同窓会は永遠に存続していきます。

閉校が発表されてからは更に同窓生の輪は広がり、絆は深まっておりこの場所でたくさんの同窓生ともう一度、最高の時間を過ごしたい思いは残ったままです。

いつか必ずこの場所で、同窓会での集いを開催し再会することを計画していきます。

日本一の同窓会を目指し色々な形で繋がりを大切にしていきますので今まで同様に教職員の方々にも同窓会活動を見守っていただきたくよろしくお願い申し上げます。

ここに本日をもって帝京富士中学・高等学校は閉校しましたが

私たち同窓生の生い立ちに刻み込まれた学歴は決して無くなるものではありません。

私たち同窓生は富士校での生活した誇りは生涯忘れません。

昭和五十五年の開校以来四十一年の間、人材育成にご尽力いただきました歴代の理事長・校長始め教職員の方々、歴代の父母の会の方々、同窓生の方々にこれまでのご援助と数え切れないほどの親身あるご協力に感謝致し同窓会を代表し御礼申し上げます。

また、このような状況の中、閉校記念式典を開催していただいたこと現教職員の方々に御礼申し上げます。

母校の閉校した同窓会が再始動したことをお伝えし、私の挨拶と致します。

さようなら・ありがとう帝京富士中学・高等学校…

令和三年三月二十日

帝京富士高等学校同窓会 会長 橘井純一